

# 囲いやま森の会 活動記録

2007.11.12 野口 功

日 時: 2007.11.6 (火) 10~12時 天気: 晴

記録・写真: 山田幸子

## 観察記録

あの暑かった夏がまるで夢だったように感じられる、爽やかな季節となってきました。

囲いやまの森で目立つのは、鮮やかに紅葉している ツタ、マユミ、ムラサキシキブ、マサキ、ヨウシュヤマゴボウ、ネズミモチなどの実、種類は少なくなりましたが足元にみられるキノコ。

生き物は少なくなっていますが、生命のつながりを実感できる季節となってきています。

- 1) 今の季節美しく紅葉しているのはナツツタです。絡みつかれた木はまるで違う木のように見えます。太陽の光を透かしてみた美しさは格別です。
- 2) マユミはピンク色の実の皮が目立つのでこれを花と勘違いすることがあります。昔この材で弓を作ったことから真弓の名があるそうです。
- 3) ムラサキシキブは初夏に淡紫色の花をたくさん付けます。この季節には鮮やかな紫色の実が観察でき、一年に二度楽しめます。果実の美しさを紫式部に例えたとの説があります。
- 4) トビナナフシは小さな羽があり飛ぶことができます。ナナフシの仲間は木の枝によく似ていて見つけるのが難しいです。これを擬態といいます。脅すと死んだふりをすることがあります。
- 5) ネズミモチは楕円形で黒紫色の実をつけます。実をつぶすと中から白いスプーンのような形をしたものがでできます。これは子葉です。

## 開花植物

木本: キツタ

草本: ハキダメギク・イヌタデ・ウシハコベ・ツククサ・カントウヨメナ・オオバコ・ノボロギク・セイタカアワダチソウ

実のついている植物: ミズキ・マサキ・ヨウシュヤマゴボウ・

ムラサキシキブ・コブシ・ネズミモチ・カナムグラ・アオキ

鳥: ヒヨドリ・モズ・シジュウカラ・アオジ・ツミ?・ハシブトガラス

昆虫: アオバハゴロモ・トビナナフシ

クモ: ジョロウグモ

その他の生き物: ムカデ・マイマイの仲間

## モニタリング区画 A:

アカメガシワ幼樹 12・アオキ幼樹 8・エノキ幼樹 8・ムクノキ幼樹 5・シュロ幼樹・ムラサキシキブ幼樹 2・ニワトコ幼樹・サンショ幼樹・タラノキ幼樹・マユミ幼樹・イヌツゲ幼樹・ケヤキ幼樹・シラカシ幼樹・ゴンズイ幼樹・ツルウメモドキ幼樹・ミズキ幼樹・ヤツデ 30cm位・アオツズラフジ幼樹・ヒヨドリジョウゴ 8・イヌハウズキ 4・カラスウリ 4・アマチャズル・ヨウシュヤマゴボウ・カタバミ・スミレ・ツタ多数

## モニタリング区画 B:

アオキ幼樹 9・マンリョウ幼樹・クヌギ幼樹・ミズキ幼樹・フジ幼樹・シラカシ幼樹多数・ハナイカダ 2・リュウノヒゲ 10余り・ツタ多数・ササ多数



区画 A



区画 B



アオバハゴロモ



トビナナフシ



キツタの花



ハキダメギク



ナツツタ



アオキの花芽



カナムグラの果穂



キツネノチャブクロ



ネズミモチの子葉



コナラの実



エゴノキの実



マサキ



マユミの実



ミズキの実



ムラサキシキブの実



ヨウシュヤマゴボウ